

感染症について保健室からのお知らせ

学校保健安全法に定められた感染症（ハンドブック参照）に罹患したときは、医師の許可を得てから登校することになっていますので、必ず保健室にご連絡下さい。

< 麻疹 > 麻疹ウイルスによって起こる感染症です。2007年に大学生の間で大流行をしました。重症化すると死亡に至ることもありますので、麻疹に罹ったことがない、又は予防注射を2回受けていない方は、医師に相談の上予防接種を受けて下さい。

症状：潜伏期は10日～12日、発熱・咳・鼻水・涙・コプリック斑（頬の内側に白い斑点が出る。）・発疹が特徴

※ 発疹に伴う発熱が解熱した後3日を経過するまでは登校禁止です。

感染：空気感染、飛沫感染、接触感染

予防：予防接種を受けましょう。

< 結核 > 結核は過去の病気ではありません。高齢者と若者の患者が発生しています。

HIV感染者の増加と共に感染者増加が心配されています。

症状：2週間以上咳が続く・痰・微熱が続く・長引くからだのだるさ

感染：空気感染（飛沫感染）

予防 {
・咳・痰・風邪症状が長く続くときは医療機関を受診しましょう。
・定期健診を受けましょう。
・予防接種（BCG）を受けましょう。
・日頃から十分な睡眠・休養や栄養を摂り体力を高めましょう。

< インフルエンザ >

症状：発熱・咳・鼻水・くしゃみ・筋肉痛など。

感染：咳やくしゃみによる飛沫感染をする。

予防 {
・日頃から十分な睡眠・休養や栄養を摂り体力を高めましょう。
・うがい、手洗いを心がけましょう。
・咳やくしゃみなどの症状がある時は、マスクを着用しましょう。
・ワクチンを接種しましょう。

< ノロウイルス >

ノロウイルスは、冬期を中心に急性胃腸炎を起こすウイルスで、感染力が強く、流行は冬場がピークです。カキなどの二枚貝より感染しますが、感染者から集団感染するケースも増えています。

症状：下痢・嘔吐・発熱

2～3日で回復しますが、抵抗力の弱い乳幼児や高齢者では重篤になることがあります。自覚症状がなくなっても、1週間ほどウイルスを排泄することがあります。

感染：糞便・嘔吐物（感染者の糞便や嘔吐物が付着する、乾燥して浮遊したウイルスを吸い込むなど。）

予防：85℃1分以上の加熱でノロウイルスの感染力は失われるので、食材や調理器具、布巾など加熱できるものは過熱しましょう。

※ ウイルスに有効な消毒薬・・・次亜塩素酸ナトリウム（塩素系漂白剤）